

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 総合周産期母子医療センターとして、安全な質の高い看護の提供を行う。

112件/年の母体搬送の受け入れを行った(表1)。分娩件数は減少しているが、母体搬送件数は減っておらず、緊急帝王切開の件数も増加している(表1、図1)。高齢出産率も4割を超えていることより(図6)、ハイリスク妊産婦は増加傾向である。今年度も継続し緊急帝王切開にスタッフが対応できるよう手術室準備のシミュレーションを数回に分けて実施した。助産師個々の分娩介助経験件数も減っているため、今年度も看護協会主催による看護職員出向・交流研修事業で、岡山市立市民病院へ1名研修参加し、同時期に1名の研修生を受け入れた。研修先での分娩介助経験件数は3例にとどまったが、他に社会的ハイリスク妊婦の指導や助産外来、産後入院等、当院で取り組んでいない分野の知識を深めることができた。研修後患者の背景をしっかりと捉える必要性を伝達し、退院支援委員会を中心に、社会的ハイリスク妊婦の支援に生かすことができている。NCPR研修は1日コース1名、今年度よりスキルアップのための半日コースのSコースが増え、5名参加できた。またインストラクターを1名取得することができた。緊急時のシミュレーションは実施できたが、災害シミュレーションについては必要と感じつつも、実施できていないため次年度計画する。今後レベル維持のためのシミュレーションは定期的実施できるように計画する。

2) 多職種と協働、連携し、患者を支援する。

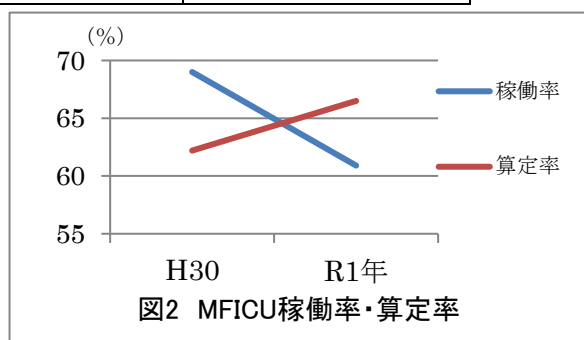
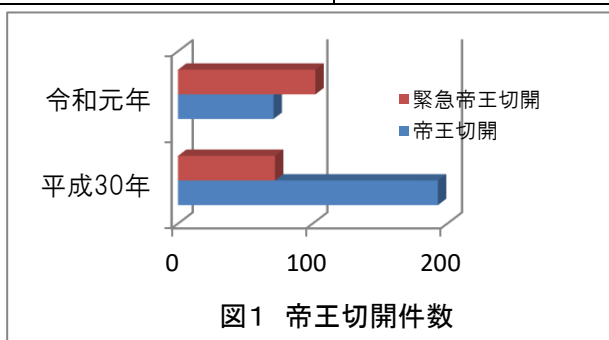
妊娠期よりハイリスク妊産婦に対し、妊産婦連絡票を介して保健所と211件の連携が取れた。特に支援が必要な妊産婦に対し、入院中に4件、行政とのカンファレンスを実施した。退院後は保健師より、介入した妊婦の状況報告があった。4月より岡山県は、本格的に産後うつ早期発見のため、EPDSの取り組みを始めた。当院でも病棟で行う産後2週間健診時、外来で行う1か月健診時に全例実施した。外来と連携し、EPDSの数値が高いお母さんに対し、精神科への介入や、地域の行政と連絡、相談を行った。社会的ハイリスクの妊産婦も増えてきているため、次年度も外来、地域連携と行政と連携を取り、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行っていく。

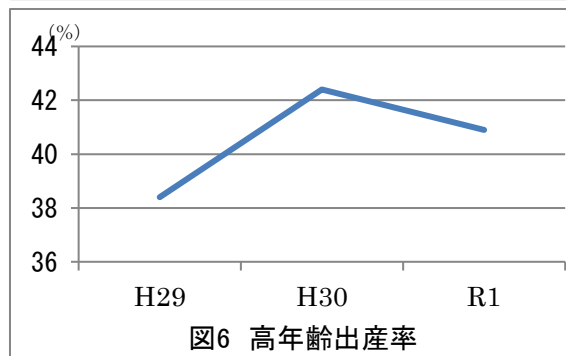
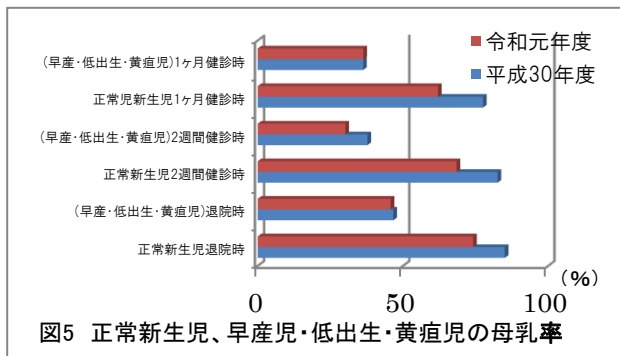
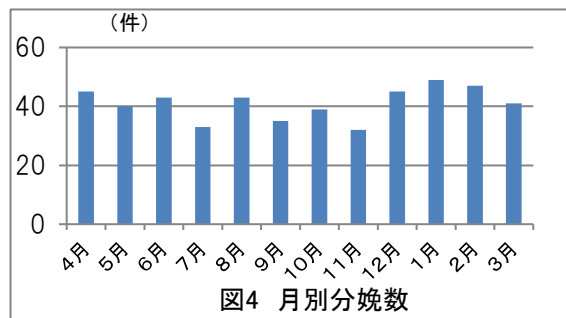
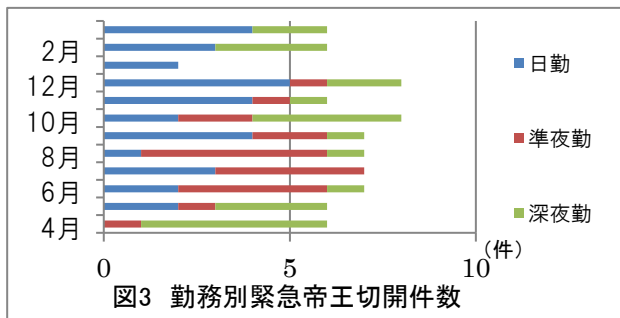
3) BFH推進と継続、伝承のための取り組みを行う。

母乳育児支援については、今年度母乳率が減少した。今後原因を追究し対策を講じ、支援につなげていく。母乳育児推進室を中心に、院内外に向けてBFH・母乳・育児支援の広報に取り組んだ。8月の赤ちゃんにやさしい病院月間では、病棟、コメディカル立場から育児支援に対する情報発信として新聞発行やパネル展示を行い広報に努めたが、職員も認知していないのではないかとのおもひに至った。そこで、次年度は職員に対する認知度評価を計画し課題の明確化につなげたい。

表1 分娩件数、帝王切開件数と母体搬送件数の推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
分娩件数	549件	577件	492件
帝王切開件数(再掲)	163件	173件	172件
緊急帝王切開件数(再掲)	86件	72件	102件
母体搬送件数	121件	129件	112件





2. 病床運営状況

表 2 令和元年度 病床運営状況

看護単位	収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院患者数 (人)
			新入院患者数(人)	退院患者数(人)	
6A	46	産婦人科・乳腺甲状腺外科	89.8	121.8	32.7
MFICU	6	産科	8.7	0.8	3.6

看護単位	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	病床稼働率 (%)	重症加算病床		有料個室	
				病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)
6A	9.4	71.0	79.7	2	64.1	4	96.1
MFICU	23.5	60.5	60.9				

3. 看護体制

表 3 令和元年度 看護体制

看護単位	配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
6A	33	PNS [®]	3:3
MFICU	15		2:2

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表 4 令和元年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 I

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合(%)	14.4	12.3	18.4	26.4	29.0	34.5	17.3	17.3	27.7	28.6	24.1	37.6	24.0

2) 家族教育等

新生児取り扱い総数	母親学級参加人数(実施回数)	両親学級参加人数(実施回数)	わいわいサークル参加人数(実施回数)
3351人(月平均297人)	342人(62回/年)	100組(39回/年)	132人(18回/年)

5. 研究業績

1) 看護研究発表・研究会発表(誌上発表を含む)

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
切迫早産治療で頸管ペッサリー留置後に膣壁裂傷を発症した一例	佐藤竜佳 岡田歩	第36回 岡山県母性衛生学会	岡山	2019年11月9日
母子同室をするLate preterm児の母親の入院中における不安について	伊藤夏子 笹岡あい	第34回日本母乳哺育学術集会	岡山	2019年9月14日
A病棟におけるシャワー室及び早期前期破水妊婦の細菌感染に関わる実態調査～水質、シャワー室、患者の膣培養結果から～	片山由美子 桑田朝美	看護研究発表会	院内	2020年2月8日

2) 講演会・講義・研修会等

講演会・講義・研修会名	講師名	主催者名	開催地	開催日
母乳育児支援・乳房ケア	有道順子 小谷教恵	岡山県看護協会 新人助産師合同 研修	岡山県 看護協会	2019年8月17日
看護の出前授業 「いのちの大切さ、こころとからだの話」	柏木亜由美 佐藤珠実 上田成美 楠木菜野美 清水茜	岡山県看護協会	県内 中学校 高等学校	2019年7月10日 2019年10月26日 2019年10月7日
「国際助産師の日」イベント	長谷川郁 他1年目	岡山県看護協会 助産師職能委員会	アリオ 倉敷	2019年10月26日